

令和5年度 大阪府立羽曳野支援学校 第2回 学校運営協議会

開催日時	令和5年12月8日（金） 15:00～16:30
開催場所	本校 図書室
出席者	井上委員、亀田委員、中條委員、平賀委員
出席者	東野校長、岩田教頭、井川教頭、川野事務長、 岡田首席、松山首席
傍聴者	なし
資料	・ 学校運営協議会次第 ・ 学校教育自己診断資料 ・ 学校行事に関する資料
備考	

議事等（次第順）	
1	学校長挨拶
2	【協議】 学校教育自己診断について ①実施状況 ②集計状況
3	【連絡報告事項】 ①体育大会（本校、阪南病院分教室） ②オンライン校外学習（全校） ③オンライン修学旅行（全校） ④大日本印刷出前授業（全校） ⑤学習発表会（阪南病院分教室）
4	意見交換
5	連絡 ①第3回学校運営協議会日程について
6	閉会の挨拶

協議内容・連絡報告事項等

【協議】学校教育自己診断について

(岩田教頭)

実施状況として、対象者は児童生徒・保護者・医療関係者・教職員である。実施日時は児童生徒・保護者は6月26日～11月1日、医療関係者と教職員は10月16日～11月1日の期間で行った。アンケートの回収数は、児童生徒109名・保護者83名・医療関係者187名・教職員69名であった。

集計状況として、全体的な傾向は各項目で「大体そう思う」の割合が増加し、特に保護者と医療関係者にその割合が多かった。

(委員)

- ・学校への評価がとても高い。
- ・子どもたちへの質問項目の「先生はあなたの前の学校の先生と連絡を取り合っている」の肯定的回答が多い。入院している子どもたちは前籍校のことをとても気にしており、学校間の連携がしっかりしていることが子どもたちに伝わっていることはすばらしい。
- ・キャリア教育の項目に関して、児童生徒の否定的回答が教職員の回答より高く出ているずれについては、子どもの気持ちや病状等を踏まえてあえて触れないという対応をされていることもあると思う。病弱支援学校においてこの結果を否定的に考えなくてもよいと思う。

【報告】学校行事について

①体育大会

(本校) 今年コロナ前のように保護者も一緒に参加していただいた。少人数であることで子ども一人ひとりが注目される良さがあった。

(阪南) 阪南病院から本校に来て実施した。午前中は体育館、午後はグラウンドで実施した。

②オンライン校外学習

コロナの影響でここ数年実施できていなかったが、今年は天王寺動物園のご協力でオンライン校外学習が実施できた。

③オンライン修学旅行

初めてのオンラインでの実施となった。午前中は沖縄のNPO法人「自然体験学校」とオンラインでつなげて、シーサーの絵付け体験を行った。午後は国立民族学博物館と中継でオンライン見学を行った。

④大日本印刷出前授業

オンラインでの出前授業を行った。コロナの影響で社会とつながる機会が減ってしまっていたが、出前授業が社会とつながる良い機会となるとともにキャリア教育にもなった。

⑤学習発表会(阪南)

子どもたちが製作した革細工やさおり織りをベースにしたポーチ、髪留め、畑で育てた大

根等を保護者や病院関係者に販売した。また体験コーナーを設置し、来ていただいた方に子どもたちが作り方をレクチャーした。

【意見交換】

(委員)

- ・コロナ前に戻す行事、またコロナを経て新しい取り組みに変える行事等様々取り組まれている。運動会等保護者の思いを酌んで実施されており、良いと思った。
- ・入院は嫌だったが、楽しいことがあったと感じるためにもこのような経験は大きい。これらの経験ができるということは病院の中にある学校として大きな役割を持っている。
- ・修学旅行という響きへのあこがれもあると思うので、オンラインであっても参加できたという感覚を持てることは大切なことと思う。
- ・阪南分教室で作ったものを、実際に販売するところまでつなげたことはすばらしい。
- ・修学旅行は見るだけで楽しい映像づくりがすばらしかった。
- ・一つの方法しかなかったところにオンラインという方法が加わり、経験をしたり満足感を得たりすることができることは支援学校ならではの工夫で実現されていたと思う

次回の会議日程

日 程	令和6年2月上旬
会 場	羽曳野支援学校本校 図書室